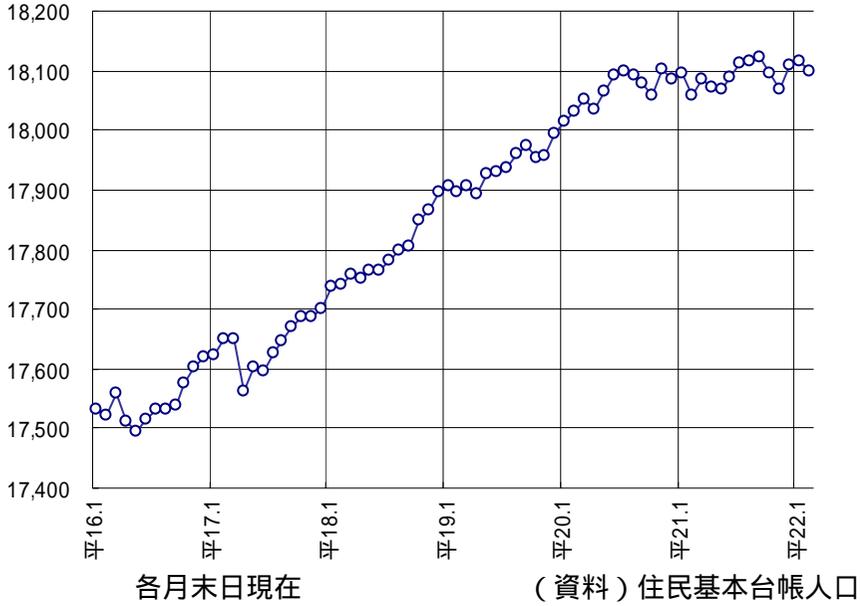


大井町将来推計

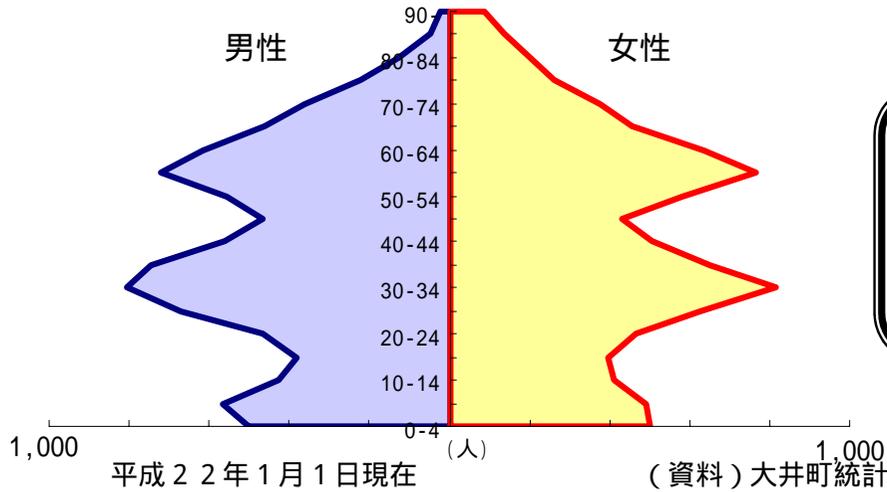
大井町人口動態の特徴

大井町人口の推移



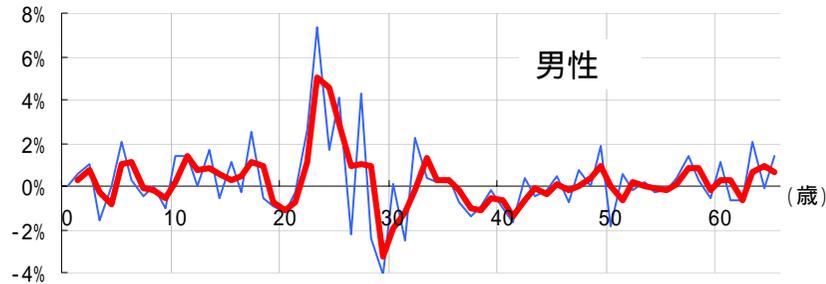
平成20年中頃から人口増加傾向が横ばいへと変化

年齢5歳階級別人口

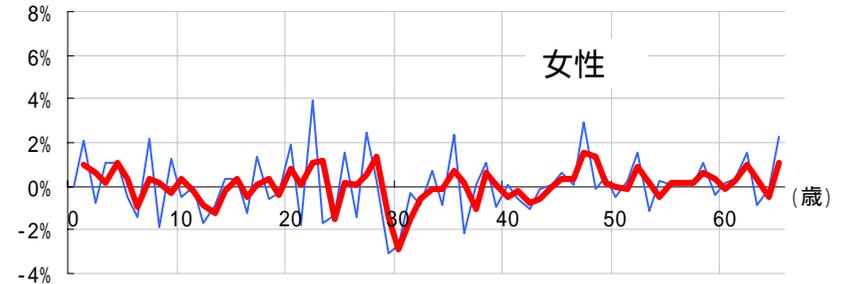


男女ともに60～64歳、35～39歳、5～9歳にピークを形成
男女ともに人口の谷にある20～24歳人口は、35～39歳人口と比較して約半数

年齢別社会移動率



細線：各年齢別社会移動率 太線：2カ年移動平均



平成18～22年の各年の推計社会移動率を加算平均

男性は22歳前後に社会増のピークを形成 **男女ともに29歳前後に社会減のピークを形成**

地区別人口の推移

地区名	人口			世帯		
	平成13年	平成21年	増減率	平成13年	平成21年	増減率
篠窪	284	228	19.7	79	77	2.5
柳	154	136	11.7	36	37	2.8
高尾	87	85	2.3	22	20	9.1
赤田	258	254	1.6	66	70	6.1
山田	1,092	922	15.6	397	333	16.1
上山田	324	292	9.9	92	92	0.0
中屋敷	187	175	6.4	49	51	4.1
下山田	410	387	5.6	117	123	5.1
相互台住宅	42	0	100.0	12	0	100.0
相互台独身寮	129	68	47.3	127	67	47.2
金子	8,840	9,623	8.9	2,994	3,493	16.7
根岸上	991	948	4.3	371	383	3.2
根岸下	881	992	12.6	317	368	16.1
市場	1,466	1,513	3.2	491	533	8.6
坊村	589	620	5.3	199	225	13.1
馬場	620	859	38.5	201	298	48.3
宮地	788	728	7.6	250	260	4.0
吉原	296	295	0.3	94	106	12.8
新宿	1,418	1,591	12.2	473	577	22.0
河原	1,791	2,077	16.0	598	743	24.2
金手	1,803	1,941	7.7	633	747	18.0
西大井	1,213	1,449	19.5	391	478	22.3
上大井	2,793	3,180	13.9	919	1,151	25.2
湘光園	418	278	33.5	158	95	39.9
合計	16,942	18,096	6.8	5,695	6,501	14.2

主な人口増加地区
馬場 (38.5%)
西大井 (19.5%)
河原 (16.0%)

主な人口減少地区
湘光園 (33.5%)
篠窪 (19.7%)
柳 (11.7%)

主な世帯増加地区
馬場 (48.3%)
上大井 (25.2%)
河原 (24.2%)

主な世帯減少地区
湘光園 (39.9%)

各年9月末現在 (資料) 大井町統計要覧

大井町将来人口推計

ケース：現在の傾向が今後も続くとした場合

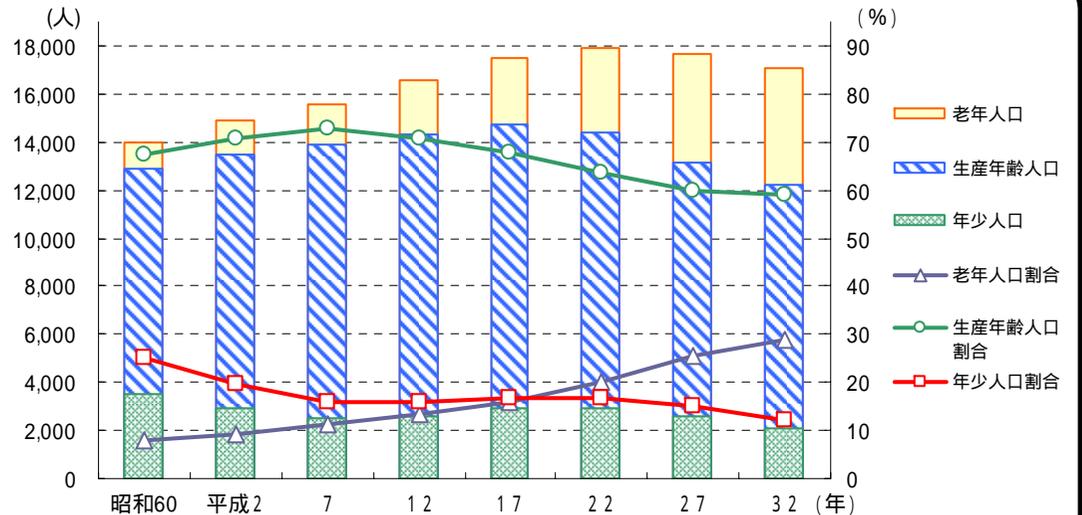
推計方法：コーホート要因法
基準日：各年10月1日

基準人口：国勢調査ベース推計人口（平成18～22年）
推計結果：総人口は50人単位、年齢別人口は10人単位で四捨五入

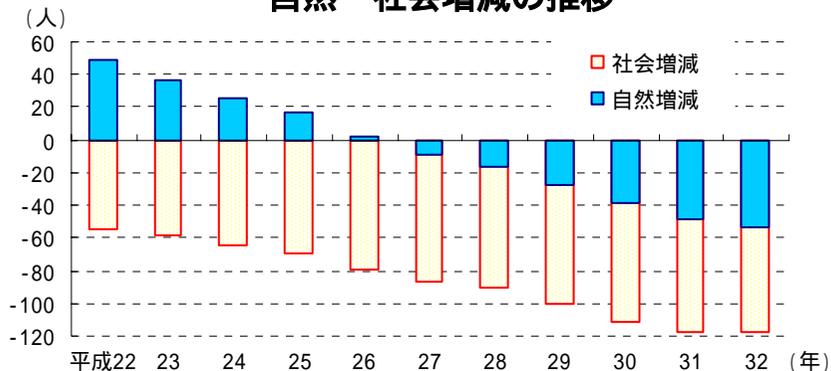
人口・総世帯数推計結果

区 分	実績		推 計	
	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
総 人 口	17,527 (100.0)	17,950 (100.0)	17,650 (100.0)	17,100 (100.0)
年少人口 (0～14歳)	2,901 (16.5)	2,970 (16.6)	2,620 (14.9)	2,110 (12.3)
生産年齢人口 (15～64歳)	11,863 (67.7)	11,400 (63.5)	10,550 (59.8)	10,080 (59.0)
老年人口 (65歳～)	2,763 (15.8)	3,570 (19.9)	4,480 (25.4)	4,910 (28.7)
総世帯数	5,950	6,260	6,230	6,160
1世帯当たり人員	2.95	2.87	2.83	2.78

四捨五入のため合計と一致しないことがある
人口のうち上段は人数、下段()内は構成比



自然・社会増減の推移



総 論

平成22年頃をピークに人口減少局面へ

平成27年には自然減局面へ

急激な少子化の進行（H22～H32 約27%減少）

急激な高齢化の進行（H22～H32 約38%増加）

生産年齢人口の逓減（H22～H32 約12%減少）

ケース : ケース に加え第一生命移転の影響を加味した場合

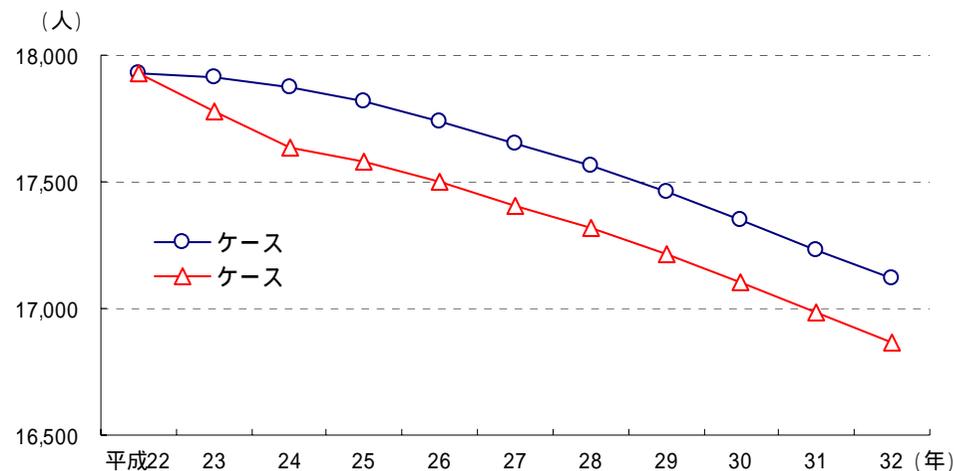
仮定条件： 平成23年度中に転居と仮定
相互台独身寮及び湘光園在住者の3分の2が転居と仮定
転居人口は0～60歳に均等に按分

人口・総世帯数推計結果

区 分	実績	推 計		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
総 人 口	17,527 (100.0)	17,950 (100.0)	17,400 (100.0)	16,850 (100.0)
年少人口 (0～14歳)	2,901 (16.5)	2,970 (16.6)	2,570 (14.8)	2,070 (12.3)
生産年齢人口 (15～64歳)	11,863 (67.7)	11,400 (63.5)	10,350 (59.5)	9,890 (58.7)
老年人口 (65歳～)	2,763 (15.8)	3,570 (19.9)	4,480 (25.7)	4,890 (29.0)
総世帯数	5,950	6,260	6,150	6,070
1世帯当たり人員	2.95	2.87	2.83	2.78

四捨五入のため合計と一致しないことがある
人口のうち上段は人数、下段()内は構成比

人口の比較



総 論

第一生命の移転による影響は平成32年までは転居者数と同等の影響に限定される。

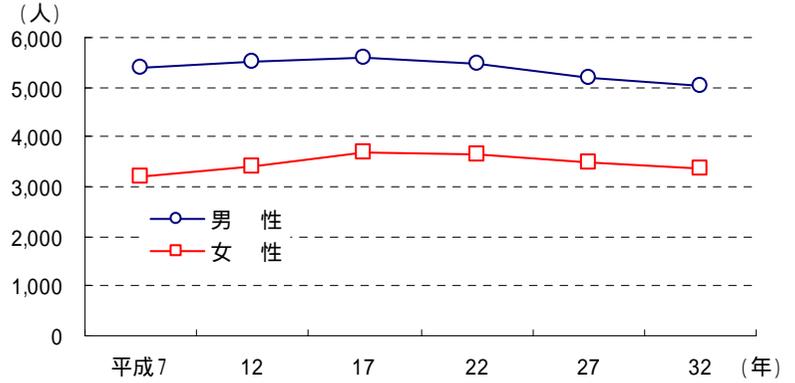
大井町将来就業構造推計

基準就業者数：国勢調査（平成7・12・17年）常住地ベース
 推計結果：各就業者数10人単位で四捨五入
 仮定条件：人口推移はケースを採用
 基準日：各年10月1日
 年齢別就業率は平成17年と同一と仮定
 産業別就業者割合の変化傾向が今後も続くと仮定

男女別就業者数推計結果

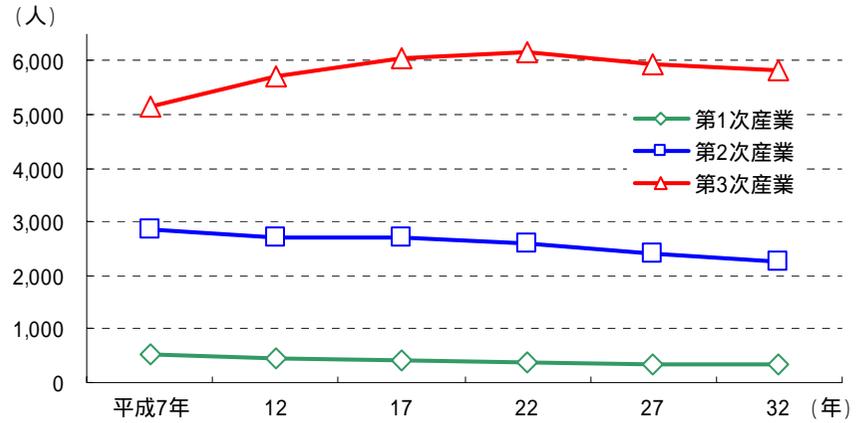
(人)

	実績値			推計値		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
男性	5,385	5,518	5,578	5,490	5,200	5,040
女性	3,199	3,403	3,683	3,640	3,490	3,370
合計	8,584	8,921	9,261	9,130	8,690	8,410



産業別就業者数推計結果

区分	実績値			推計値		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
総就業者数	8,551 (100.0)	8,907 (100.0)	9,204 (100.0)	9,130 (100.0)	8,690 (100.0)	8,410 (100.0)
第1次産業	538 (6.3)	467 (5.2)	429 (4.7)	390 (4.3)	350 (4.1)	330 (3.9)
第2次産業	2,858 (33.4)	2,712 (30.4)	2,711 (29.5)	2,580 (28.3)	2,390 (27.5)	2,260 (26.9)
第3次産業	5,155 (60.3)	5,728 (64.3)	6,064 (65.9)	6,150 (67.4)	5,950 (68.4)	5,820 (69.2)



四捨五入のため合計と一致しないことがある
 上段は人数、下段（）内は構成比

総 論

平成17年頃をピークとして総就業者数が減少局面へ